

Title: “Pray Like An Apostle” 弟子のように祈りましょう

Text: Colossians 1:9~14, NIV

9 For this reason, since the day we heard about you, we have not stopped praying for you. We continually ask God to fill you with the knowledge of his will through all the wisdom and understanding that the Spirit gives, 10 so that you may live a life worthy of the Lord and please him in every way: bearing fruit in every good work, growing in the knowledge of God, 11 being strengthened with all power according to his glorious might so that you may have great endurance and patience, 12 and giving joyful thanks to the Father, who has qualified you to share in the inheritance of his holy people in the kingdom of light. 13 For he has rescued us from the dominion of darkness and brought us into the kingdom of the Son he loves, 14 in whom we have redemption, the forgiveness of sins.

『コロサイ人への手紙』1:9-14

そういうわけで、私たちはそのことを聞いた時から、絶えずこう祈り求めています。どうか、神が何を望んでおられるか、はっきりとあなたがたにわかりますように。また、霊的なことに対する理解力が与えられますように。¹⁰ いつも主に喜ばれる生き方をして、主の評判を高めることができますように。他の人々に善意と親切を示し、神をますます深く知るに至りますように。¹¹ また、こうも祈っています。あなたがたが神の栄光ある力に満たされて、どんなことが起ころうとも前進し、いつも、主の喜びにあふれていることができますように。¹² また、光の国にすばらしい場所を備え、私たちをそこに住むにふさわしい者としてくださった父なる神に、いつも感謝できますように。¹³ 神は私たちを、サタンの支配する暗黒から救い出して、愛するひとり子キリストのご支配のもとに移してくださいました。¹⁴ この神の子は、ご自分の血という代価を払って、私たちを買い取ってください、すべての罪を赦してくださいましたのです。

Introduction

The Apostle Paul was a man of prayer. He always prayed for those he was writing to. He often told them what he prays for on their behalf. The same is true here in his epistle to the Colossians. So, what did he pray for them? We can find the answer in Colossians 1:9~14. In it he expresses his desire for the Colossians, which I believe is also God's will for all believers, including us today!

はじめに

弟子のパウロは祈りの達人でした。いつも手紙の宛先の人々のために祈っていたのです。そして、その祈りの内容までもを相手に伝えたのです。今日参考にする『コロサイ人への手紙』の箇所からもその実例を見ることができます。さて、パウロはコロサイ人のためにどんな祈りをしたのでしょうか。『コロサイ人への手紙』1:9-14にその答えがあります。その手紙でパウロはコロサイ人への願望を表しています。そしてその願望は、今日(こんにち)の私たちを含む、信者達全員に対する神様の願いでもあると私は考えます。

There are two (2) major requests Paul presents to God on their behalf. The first one is this...
コロサイ人のためにパウロは二つのことを神様に願います。まずは、

I

For “God to fill you with the knowledge of his will through all the wisdom and understanding that the Spirit gives” – verse 9

「どうか、神が何を望んでおられるか、はっきりとあなたがたにわかりますように。また、霊的なことに対する理解力が与えられますように」という9節のことばです。

Here are some key concepts in his prayer:

この祈りに込められている重要な概念は:

- A. He prays that God would “fill” them.
- A. 神様が彼らを「満たす」ようにと願っていること

Being filled up is not just a small measure. It carries the idea of abundance and completeness – to be satisfied with a full measure. It is not God's desire that we try to "just get by with as little as necessary".

But to be filled with what? That's the next concept in his prayer.

満たされた状態にあるとは、少しの量でということではありません。豊かさと完全さを意味することです。たくさんの量によって満たされるということです。必要最低限でなんとかしようというのは神様の願われることではありません。とはいえ、何に満たされるのでしょうか。それこそが、パウロの祈りに出てくる次の概念です。

B. He prays that God to fill them with “the knowledge of his will”.

B. 「御心の知恵(霊的なことに対する理解力)」で満たされるようにと祈っていること

To know God and what He requires of us is our first responsibility. Yet God desires to fill us with – complete, deep, and clear knowledge of His will. Likewise, the apostle Paul knew that spiritual ignorance is not bliss, but it's the frequent source of error, instability, and sorrow. And so, he desired that the Colossians might be thoroughly taught in the things of God.

神様を知ること、そして神様が私たちに望まれることが何かを知るのが、私たちの第一の責務です。神様は私たちを、その御心に関する完全で、深い、明確な知識で満たすことを望んでおられます。それと同様に使徒パウロは、精神的な無知は至福ではなく過ちであり、不安定さや悲しみの源になることも理解していたのです。だから、コロサイの信徒たちが神様について徹底的に教えられるようにと願ったのです。

He expounds it even more.

さらに、手紙の中でパウロは説明を続けます。

C. He prays that their full knowledge would come “through all the wisdom and understanding that the Spirit gives”. The Holy Spirit is the Source of true understanding of God's will. This wisdom, this understanding is a gift. That's why prayer is necessary to acquire it.

C. パウロは、コロサイ人たちの完全なる知識が「御霊がくださるすべての知恵と理解によって」得られるよう祈っています。聖霊は、神様の御心を真に理解する源です。この知恵と理解は賜物です。ですから、それを得るためには祈りが必要なのです。

James 1:5 - If any of you lacks wisdom, you should ask God [pray], who gives generously to all without finding fault, and it will be given to you.

『ヤコブの手紙』1:5

神が何を望んでおられるか知りたいなら、遠慮なく、直接尋ねなさい。神は喜んで教えてくださいます。願い求める人には、神はいつでも惜しみなく、あふれるばかりの知恵を授けてくださるからです。そのことで、決してとがめたりはなさいません。

Moreover, to possess a knowledge of God's will with spiritual understanding must be anchored in His Word.

また、霊的な理解をもって神様の御心を知るには、御言葉に軸足を置く必要があります。

Ephesians 3:3~5 - 3 that is, the mystery made known to me by revelation, as I have already written briefly. 4 In reading this, then, you will be able to understand my insight into the mystery of Christ, 5 which was not made known to people in other generations as it has now been revealed by the Spirit to God's holy apostles and prophets.

『エペソ人への手紙』3:3-5

私は、外国人に神の恵みを示すという任務を神から受けています。このことについては、前の手紙でも簡単にふれましたから、もうすでにご存じと思います。外国人もまた神の恵みの対象とされているという、この特別の計画を、神が私に明かしてくださったのです。⁴このように申し上げるのは、これらについて私がどう理解しているかをわかっていただくためです。⁵以前、神はこの計画をご自分の民に隠しておられました。しかし今は、聖霊を通して、使徒や預言者たちにはっきりと示しておられます。

Hence, prayer and Bible study are essential elements in our Christian life!

だからこそ、祈りと聖書の勉強は、私たちクリスチャンの人生に欠かせない要素なのです。

But, why is it necessary for us to be filled with “the knowledge of his [God’s] will”? I can give you at least two (2) possible reasons:

しかし、なぜ「神様の御心についての知恵」で満たされることが必要なのでしょうか。二つの理由を挙げましょう。

Without the full and clear knowledge of His will, we court disaster.

1. 御心の完全かつ明確な知識なくしては、私たちは災難に見舞われるのです。

Hosea 4:6 – “My [God’s] people are destroyed from lack of knowledge. ‘Because you have rejected knowledge, I also reject you as my priests; because you have ignored the law of your God, I also will ignore your children.’”

『ホセア書』4:6

わたしの民は、わたしを知らないために滅ぼされる。それもみな、あなたたち祭司のせいだ。あなたたちがわたしを知ろうとしなかったからだ。だからわたしも、あなたたちをわたしの祭司とは認めない。あなたたちがわたしのおきてを忘れてしまったので、わたしもあなたの子どもたちを祝福することを忘れよう。

2. It is essential to our renewal in becoming like Christ.

2. キリストのようになるために、私たちの刷新に不可欠なものです。

Colossians 3:8~10 - 8 But now you must also rid yourselves of all such things as these: anger, rage, malice, slander, and filthy language from your lips. 9 Do not lie to each other, since you have taken off your old self with its practices 10 and have put on the new self, which is being renewed in knowledge in the image of its Creator.

『コロサイ人への手紙』3:8-10

けれども今は、怒り、憎しみ、ののしり、口ぎたない悪口などの、汚れた服をみな脱ぎ捨てて時なのです。⁹ だまし合いはやめなさい。うそは、あらゆる悪にまみれた古いのちの特徴でした。しかしすでに、その古いのちは死んだのです。¹⁰ あなたがたは新しいのちに生きています。正しいことへの探究心を強め、ますます、この新しいのちを与えてくださったキリストに似る者となるよう努めましょう。

Is this prayer being answered in OUR lives? Are we doing anything to assure that it is?

私たちの人生において、パウロのこの祈りは十分に応えられているでしょうか？私たちは、この祈りの通りになれるよう努力をしていますか？

The second major request Paul presents to God on behalf of the Colossians is this ...

コロサイ人のためにパウロが神様にした二つ目の祈りについてです。それは.....

II. That they “may live a life worthy of the Lord and please him in every way” – verses 10~14

「いつも主に喜ばれる生き方をして、主の評判を高めることができますように」10~14節

This is a familiar pattern we can find in the New Testament (NT). How we live is based on our knowledge of God and our understanding of His will.

これは、新約聖書(NT)に見られるおなじみのパターンです。

私たちがどのように生きるかは、神様についての知識と神様のご意志とをどれほど理解しているかによっているのです。

Yes, dear brethren in Christ, the objective of being so full with the knowledge of God’s will is for us to live our lives in a manner “worthy of the Lord”. It’s the same idea when Paul tells the Ephesian believers to “live a life worthy of the calling you have received” (Ephesians 3:1).

キリストにある親愛なる兄弟姉妹のみなさん、神様の御心を知り尽くすことの目的は、私たちが「主にふさわしい」生き方をすることにあります。パウロは『エペソ人への手紙』3章1節にも同じようなことを書きました。「受け取った新しい命に値する人生を送ってください」と。(『エペソ人への手紙』3:1)

The Lord we serve, and the calling we have received, is certainly a "worthy" one! Our conduct should be one to honor Christ, not shame Him! Stated positively, we have been saved to live in the newness of life in Him, one that pleases Him.

私たちが仕える主、そして私たちが受けた召命は、確かに「主にふさわしい」ものです。私たちの行いは、キリストを辱めるのではなく、キリストを誉めたたえるものでなければなりません。積極的に言えば、私たちが救われたのは、主の中で新しいいのちを生きるため、つまりは、主を喜ばせるためなのです。

There is conduct which displeases Christ. He condemns hypocrisy and disobedience. イエス様をがっかりさせる行動があります。イエス様は偽善や不従順を非難されています。

Luke 6:46 - "Why do you call me, 'Lord, Lord,' and do not do what I say?"

『ルカの福音書』6:46

なぜ、『主よ、主よ』と呼びながら、わたしに従おうとはしないのですか。

But conduct coming from one who is first filled with the knowledge of God's will is more likely to fully please Him! How does this "life worthy of the Lord" look like?

しかし、まず神様の御心を知って満たされた者から出る行いは、神様を完全に喜ばせるものになる可能性が高いのです。この「主にふさわしい生き方」とは、どのようなものでしょうか。

A. It's a life that is fruitful in God (v.10)

A. 神様のもとで実を結ぶ人生である(10節)

10 so that you may live a life worthy of the Lord and please him in every way: bearing fruit in every good work...

¹⁰ あなたがたが神の栄光ある力に満たされてどんなことが起ころうとも前進し、いつも、主の喜びにあふれていることができますように。

The NLT version renders it this way: "your lives will produce every kind of good fruit". Not just "one", but "every" good fruit/work.

NLT版の聖書では、このように表現しています。「あなたがたの生活は、あらゆる種類の良い実を結ぶ」と。「一つ」ではなく、「あらゆる」良い実です。

Ephesians 2:10 - For we are God's handiwork, created in Christ Jesus to do good works, which God prepared in advance for us to do.

『エペソ人への手紙』2:10

私たちがこのように造り変え、キリスト・イエスによる新しい生活に入れてくださったのは神です。この新しい生活は、神がずっと以前から計画してくださったものであり、私たちが互いに助け合って過ごすためでした。

Matthew 5:16 - In the same way, let your light shine before others, that they may see your good deeds and glorify your Father in heaven.

『マタイの福音書』5:16

あなたがたの光を隠してはいけません。すべての人のために輝かせなさい。だれにも見えるように、あなたがたの良い行いを輝かせなさい。そうすれば、人々がそれを見て、天におられるあなたがたの父を、ほめたたえるようになるのです。

Are we being fruitful?

私たちは実を結んでいるでしょうか？

B. It is a life that is "growing in the knowledge of God" (v.10).

B. それは「神様を知ることによって成長していく」人生である(10節)。

We need to grow in the knowledge of God HIMSELF, not just His will.

私たちは、神様のご意志だけでなく、神様ご自身を知ることによって成長する必要があります。

2 Peter 3:18 - But grow in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen.

『ペテロの手紙Ⅱ』3:18

そして、主であり救い主であるイエス・キリストをさらに深く知って、主の恵みと知識において成長しなさい。このキリストに、すべての栄光が、今も後も、永遠にいつまでもありますように。アーメン。

How can one truly know God? Well, God's wonderful creation is accessible to us and for our senses to enjoy.

人はどのようにして神様を真に知ることができるのでしょうか。たとえば、神様の素晴らしい創造物は、私たちの手が届く範囲にあり、五感で楽しむことができます。

Psalms 19:1 - The heavens declare the glory of God; the skies proclaim the work of his hands.

『詩篇』19:1

天は、神の栄光を物語る、神の手による傑作です。

Romans 1:20 - For since the creation of the world God's invisible qualities—his eternal power and divine nature—have been clearly seen, being understood from what has been made, so that people are without excuse.

『ローマ人への手紙』1:20

世界が創造されてからこのかた、人々は、天地や、神がお造りになったすべてのものを見て、神の存在とその偉大な永遠の力をはっきり知っていました。ですから、彼らには弁解の余地がありません。

Not only is God's wonderful creation accessible to us, He has also given us the written word, the Bible. God's revelation of Himself to us is recorded in every page of the Bible. Ultimately, we can know God through His Son, Jesus Christ.

神様が創造されたものだけでなく、御言葉の書かれた聖書をも私たちに与えてくださいました。聖書のすべてのページから神様を知ることができます。そして、最終的に神様の御子であるイエス・キリストを通して、神様を知ることができます。

Hebrews 1:1~3 - In the past God spoke to our ancestors through the prophets at many times and in various ways, 2 but in these last days he has spoken to us by his Son, whom he appointed heir of all things, and through whom also he made the universe. 3 The Son is the radiance of God's glory and the exact representation of his being, sustaining all things by his powerful word. After he had provided purification for sins, he sat down at the right hand of the Majesty in heaven.

『ヘブル人への手紙』1:1-3

神は昔、幻や夢や、時には直接の啓示などいろいろな方法で、預言者を通してご自分の計画を少しずつ明らかにしました。²しかし今の時代には、ご自分の御子(イエス・キリスト)を通して語っておられます。神は、彼によって世界とその中のすべてのものをお造りになり、その御子にすべてを受け継がせたのです。³御子は神の栄光を受けて、まばゆいばかりに輝いています。また、その人格と行動すべてにおいて神であることを示し、力あることばによって万物を治めておられます。そればかりか、私たちのすべての罪の記録を消し去ってきよめるために死んでくださいました。そして今は、最高の栄誉を受けて、天におられる偉大な神のそばにいらっしゃるのです。

Colossians 2:9 - For in Christ all the fullness of the Deity lives in bodily form,

『コロサイ人への手紙』2:9

キリストのうちにこそ、神の性質のすべてが肉体をとって宿っているのです。

Are we daily increasing in this knowledge of God?

私たちは日々、この神の知識を深めているでしょうか。

C. It is a life that draws strength from God

C. 神様から力を得る人生である。

“Being strengthened with all power according to his glorious might” (v.11)

「あなたがたが神の栄光ある力に満たされて」(11節)

God wants us to be strong as we live for Him. His power is available to us.

神様は、私たちが神様のために生きるとき、強くなることを望んでおられます。神様の力は私たちに与えられているのです。

2 Timothy 1:7 - For the Spirit God gave us does not make us timid, but gives us power, love and self-discipline.

『テモテへの手紙Ⅱ』1:7

なぜなら、神が私たちに与えてくださった聖霊は、人を恐れず、知恵と力とをみなぎらせ、人を愛し、喜んで人と共に歩むようにさせてくださる霊だからです。

Paul testifies of God's powerful work in his own life.

パウロは、自分の人生における神様の力強い働きについて証しています。

Philippians 4:13 - I can do all this through him who gives me strength.

『ピリピ人への手紙』4:13

力を与え、強めてくださる方によって、私は、神に求められるどんなことでもできるからです。

Specifically, Paul's prayer for "strength" for the Colossian believers is for the purpose that they "may have great endurance and patience" (v.11). He knows that the Christian life includes many trials. Strength is needed so that even as we experience trials in this life, we may do so with joyful perseverance!

コロサイの信者たちのためにパウロが「強さ」を祈ったのは、彼らが「どんなことが起ころうとも前進する」(11節)という目的のためです。彼は、クリスチャンの人生にはたくさんの試練があることを知っています。自分の人生において試練を経験しても、喜びに満ちた忍耐力で試練に立ち向かえるように、力が必要なのです。

Are we experiencing this strength which God gives to those who do His will?

神様が御心を行う者に与えてくださるこの強さを私たちも体験しているでしょうか？

D. It is a life that is ever grateful to God (vv.12~14)

D. 神様に感謝しつづける人生である(12-14節)

12 and giving joyful thanks to the Father, who has qualified you to share in the inheritance of his holy people in the kingdom of light. 13 For he has rescued us from the dominion of darkness and brought us into the kingdom of the Son he loves, 14 in whom we have redemption, the forgiveness of sins.

¹² また、光の国にすばらしい場所を備え、私たちをそこに住むにふさわしい者としてくださった父なる神に、いつも感謝できますように。¹³ 神は私たちを、サタンの支配する暗黒から救い出して、愛するひとり子キリストのご支配のもとに移してくださいました。¹⁴ この神の子は、ご自分の血という代価を払って、私たちを買い取ってください、すべての罪を赦してくださいましたのです。

(『コロサイ人への手紙』1:12~14節)

Christians should always have the "attitude of gratitude". In this passage, the apostle Paul mentions several reasons why we should be thankful to God.

クリスチャンはつねに感謝の気持ちを持たなければいけません。使徒パウロは、今日見た聖書の箇所、私たちが神様に感謝すべき理由をいくつか挙げています。

God "has qualified you to share in the inheritance of his holy people in the kingdom of light" (v.12);

また、光の国にすばらしい場所を備え、私たちをそこに住むにふさわしい者としてくださった父なる神に、いつも感謝できますように。(12節)

God "has rescued us from the dominion of darkness" (v.13a); and,

神は私たちを、サタンの支配する暗黒から救い出して

God has "brought us into the kingdom of the Son he loves" (v.13b).

愛するひとり子キリストのご支配のもとに移してくださいました。(13節)

In Christ, “we have redemption, the forgiveness of sins” (v.14).

この神の子は、ご自分の血という代価を払って、私たちを買い取ってくださり、すべての罪を赦してくださったのです。(14節)

Are we ever giving thanks to the Father for these wonderful blessings?

これらの素晴らしい恵みを父なる神様に感謝しつづけていますか？

Conclusion/Application

The Apostle Paul’s prayer for the Colossian believers is instructive. He showed us how his prayers reflected his priorities. He offered a prayer that seeks to discern God’s will; a prayer that motivates one to live his life in order to please God.

おわりに

コロサイ教会の信者たちのためのパウロの祈りは教訓的なものです。彼は、自分の祈りがどのように優先順位を反映しているかを教えてくださいました。そして神様の御心を見極めようとする祈り、神様を喜ばせるために自分の人生を生きようとする祈りを捧げました。

May this prayer of Paul be one that we plead for ourselves, for our fellow believers and one that we desire for all of us.

このパウロの祈りが、私たち自身のための祈りになり、信者同志のための祈りにもなり、そうして私たちすべての人の祈りになりますように。